

平成24年度 研究の全体計画

社会の要請
児童の実態
保護者の願い
地域の願い
教師の願い

学校教育目標
よく学び 心ゆたかに たくましく
ともに伸びよう 善前小
＝ はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」＝

教育基本法
新学習指導要領
さいたま市
教育総合ビジョン
さいたま市
学校教育ビジョン

児童の実態

- 学習への意欲があり、進んで学習しようとする児童が多い。
- 自分の考えを相手に伝わるように話すことが不十分である児童も見られる。
- 相手の言葉を受けとめて聞くことが不十分である児童も見られる。

研究テーマ

言語感覚を高め、人とのかかわりを深める国語力の向上をめざして
—話す・聞く活動を通して、伝え合う力を育てる学習指導の工夫—

到達目標

「相手の考えを尊重しながら聞き、伝え合いを通して共に伸びようとする子」の育成

目指す児童像

- 【低学年】相手の考えを受けとめて聞き、自分の考えを伝えることができる子
- 【中学年】相手と自分の考えを比べながら聞き、よさを見つけて伝え合うことができる子
- 【高学年】相手と自分の考えの意図を意識しながら聞き、よさを高め合いながら伝え合うことができる子

付きたい力	低 学 年	中 学 年	高 学 年
話す力	相手に応じて順序よく、丁寧な言葉遣いで話す力	相手や目的に応じて、筋道を立て、丁寧な言葉遣いで話す力	目的や意図に応じて、話の構成を工夫して丁寧な言葉遣いで話す力
聞く力	大事なことを落とさずに聞く力	自分の考えと比べながら聞く力	自分の考えと比べながら聞き、自分の考えをまとめる力
伝え合う力	相手の考えをよく聞き、よ	自分の考えを理解してもらえ	互いに立場や意図をはっきりさ
学び合う力	いところを伝え合う力	るように伝え合う力	せ、考えを伝え合う力
言語感覚	言葉に親しみ、言葉の響きを楽しむ力	相手の考えを受けとめ、自分の考えを深める力	相手の考えを尊重しながら比べ、自分の考えを深める力
		語彙を豊かにし、表現に生かす力	語彙を豊かにし、適切に使う力

※言語感覚については、言語感覚を高めることにつながる素地となる力を示している。

研究の内容

【研究の柱Ⅰ】

- 言語感覚を高め、人とのかかわりを深める国語力の向上を目指す授業の工夫
- 研究の視点1 話す・聞く活動を通して「言語感覚を高める」学習指導の工夫
 - 研究の視点2 話す・聞く活動を通して「人とのかかわりを深める」学習指導の工夫

- 研究の手だて
- よりよい言葉を使う態度を育てるための言語活動の工夫
 - 語彙を豊かにするための言語活動の工夫
 - 話す・聞く・話し合う活動の工夫
 - 互いに認め合う評価の工夫

【研究の柱Ⅱ】

言語感覚を高め、人とのかかわりを深める国語力の向上を目指すための調査・研究

【研究の柱Ⅲ】

言語感覚を高め、人とのかかわりを深める国語力の向上を目指す環境の充実